



2024年3月6日
株式会社 阿波銀行

株式会社西本の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社西本（代表取締役 西本 直人、本社：兵庫県神戸市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|----------------------|
| 企業名 | 株式会社西本 |
| 所在地 | 兵庫県神戸市須磨区須磨浦通四丁目7番8号 |
| 代表者 | 西本 直人 |
| 業種 | 福祉用具貸与業 |
| 設立 | 1979年10月1日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



株式会社西本 代表取締役 西本 直人

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール |
|-------|-----------------|--|--|----------|
| 社会・経済 | 働きがい | 社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。 | ① 資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備 | |
| | | | ② 2025年までに表彰制度を創設 | |
| 環境・経済 | グリーン購入 | 環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。 | ① (1)再生可能エネルギーの導入や再エネ電力利用の推進 (2)リサイクル材使用の推進(紙、プラスチック、金属等、包装材など) | |
| | | | ② (1)LED照明使用率100%を継続 2030年までに段階的にエコカーへ切替 (2)社内書類の再生紙利用率100% | |
| 社会・経済 | 地域活性化・産業振興 | 持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。 | ① 地域の特産品・自然等の特色を生かしたイベント企画 | |
| | | | ② 年2回垂水営業所敷地内での夏祭りもちつき大会実施 | |
| 社会 | 社会・地域活動の情報発信の推進 | 地域社会の一員として、地域・社会への貢献活動を積極的に行い、地域の魅力を広く社内外にPRいたします。 | ① (1)会社ホームページやSNSで社外へ発信 (2)社内報で発信 | |
| | | | ② (1)2024年より地域貢献活動をHP等に掲載 (2)2024年より社内報で発信 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。